



未来のために、 今、部活動改革を。

これからもスポーツ・文化芸術活動に
 打ち込める環境へ

教育委員会では、生徒の活動機会を
 将来にわたり確保するため、
 段階的に休日の部活動を地域クラブへ展開していきます。



CONTENTS

- ・新しいカタチの活動へ! 部活動の地域展開を推進! 2~3
- ・いじめの未然防止~いじめ見逃しゼロを目指して~ 4
- ・「KOTO こどもかがやくプラン」の推進~すべてのこどもたちが安心して学べるために~ 5
- ・大熱狂!! デフリンピック観戦 6
- ・「みんな、かがやく!」教育活動を推進~令和7年度全国学力・学習状況調査結果から~/
 表彰等のお知らせ 7
- ・教育委員会だより / いきいきスクールネットワーク 8

今回の特集記事の
 動画はこちら



新しいカタチの活動へ！部活動

部活動の地域展開とは？

これまで学校で行ってきた部活動を、段階的に地域クラブや団体が運営する仕組みに変えることです！

なぜ、部活動の地域展開を進めるの？

少子化の進行等により、これまでと同様の体制で部活動を運営することが難しくなっています。そのため、生徒が継続してスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するとともに、教員が教育活動により専念できる環境づくりを推進するため、区では専門的な指導者の配置などを通じて部活動の地域展開を進めています。

部活動と地域クラブの主な違い

運営主体	
学校	→ 民間事業者など
指導者	
教員(顧問)	→ 地域クラブの指導者
参加者	
在籍校の部活動から選択	→ 希望する地域クラブを選択

取組内容と今後の展望

地域連携・地域展開推進計画

区では令和7年7月に策定、令和10年度末までに休日部活動を段階的に地域クラブ活動に展開していきます。平日も進めていきます。



重点取組① 地域クラブ活動の推進

生徒の活動の選択肢の拡大や教員の負担のない指導体制を構築するため、段階的に休日部活動の地域展開を進めていきます。

重点取組② 地域活動の集約・一体的紹介

区に点在する多様な活動団体と連携し、生徒が参加可能な情報を集約し、提供する体制を構築していきます。

令和7年度

令和7年10月～令和8年9月
・各学校1部活(休日)を地域展開

令和8・9年度

- ・休日部活動の地域展開を拡大、平日部活動の地域展開を試行実施
- ・区内団体の活動情報を生徒に提供

令和10年度

- ・全ての休日部活動を地域展開
- ・平日部活動の地域展開を段階的に推進

現在はこちらを実施中

※令和10年度以降、受益者負担(参加費)が発生することを予定

の地域展開を推進!

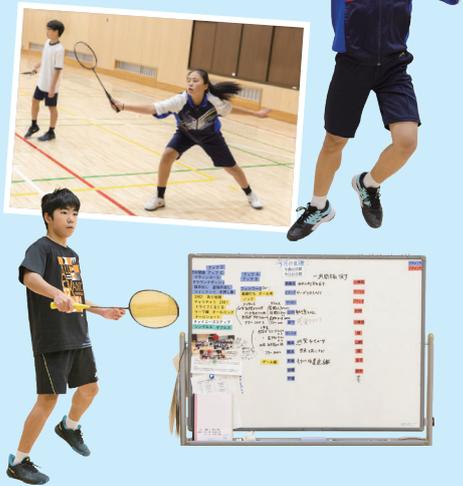


地域クラブで、もっと楽しく、もっと本格的に。
現在、活動している地域クラブを紹介します。

南砂中学校
バドミントン



技術面の指導をより受けられることで、やる気や自信にもつながり、大会を勝ち上がるチームになりました。



大島西中学校
バスケットボール



外部コーチの指導で練習の幅が広がり、個人の技術力も向上。切磋琢磨できる環境になってきています。



砂町中学校
ソフトテニス



地域クラブは練習の質が高く、丁寧に教えてもらえることで技術が身についたという生徒が多いです。



大島西中学校
バスケットボールクラブ
コーチ

声出しや基礎を大切に、ミスを恐れず挑戦する姿勢を重視しています。練習後に質問する生徒も増え、意欲を感じます。怪我に配慮しながら、今は勝ち負けより「楽しむこと」を大切に指導しています。



南砂中学校
バドミントンクラブ
2年生

地域クラブに変わってから専門のコーチに教えてもらえるようになり、練習の質が上がりました。ノックやフットワークを基礎から学び、上達を実感しています。部長としてみんなと協力し、引っ張っていきたいです。

問 教育支援課部活動改革推進担当
☎ (3647) 9307 ☎ (6458) 6087

特集記事
動画

本編はこちら▶



「KOTO こどもかがやきプラン」の推進



～すべてのこどもたちが安心して学べるために～



「みんな、かがやく!」ための居場所づくり、絆づくりを進めていきます。

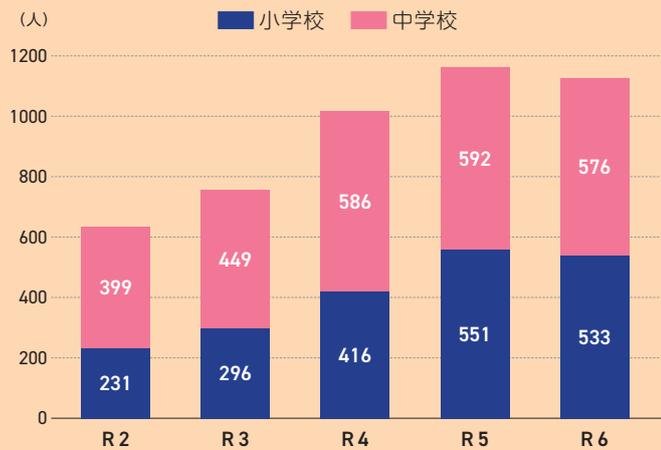
「KOTO こどもかがやきプラン」とは？

不登校のこどものみならず、江東区のすべてのこどもたちが安心して学び、「みんな、かがやく!」のために、目指す姿、充実させる取組をまとめたものです!



※ことうの教育第45号1面を併せてご覧ください。

本区の不登校児童・生徒数の推移



※小学校は義務教育学校前期課程、中学校は義務教育学校後期課程を含む。

本区の不登校児童・生徒数は、増加傾向にありましたが、令和6年度に小・中ともに減少しました。

「KOTO こどもかがやきプラン」の取組

校内教育支援センター

全校に開設されている、校内教育支援センター。教室とオンラインでつなぎ授業に参加したり、自分の課題に合った活動を選んだりして過ごしています。



教育支援センター (ブリッジスクール)



3教室合同で、カヌー体験やポッチャ体験など、様々な行事を行っています。



バーチャル・ラーニング・プラットフォーム



オンライン上の仮想空間を活用した、新たな居場所や学びの場です。



相談するか迷っていたけれど、先生に「気軽に話していいよ」と言われ、話してもいいんだなと思い、安心して話せました!



小さなサインを見逃さないように、何か違和感を感じたら、できるだけ早くこどもに声を掛けるようになりました。

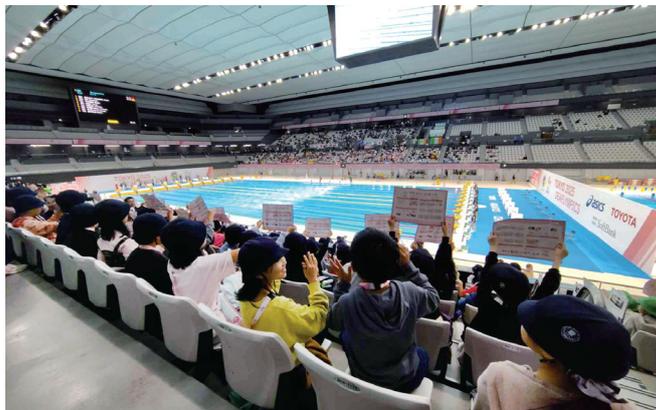


子育ての悩みを誰に相談するか迷っていましたが、勇気を出してワンストップ窓口で電話したら、解決の糸口が見つかりました!

ワンストップ型教育相談窓口 ☎ (3649)3834

大熱狂!!

デフリンピック観戦



創意工夫して、エールを届けました

東京デフリンピック2025大会が昨年11月に開催されました。区には、テニス、水泳、ゴルフの3つの競技会場がありました。区では「KOTO☆デフリンピックマガジン」を発行して子どもたちにデフリンピックについて情報発信したり、15分でできるデジタル教材を作成して全校集会や授業で活用したりしました。

また、デフリンピックの精神や歩みについて学ぶことができる「デフリンピック学習読本」(デジタルブック)を使ってデフリンピックに関する興味・関心を深めていきました。多くの学校園が会場に観戦に行き、事前に作成した応援グッズを使ったり、ハンドエールを送ったりして熱のこもった応援を行いました。

観戦した学校(子どもや教員)の声

デフリンピックを観戦したことで、障害の有無に関係なくスポーツを楽しむことが実感できました。手話だけでなく、光や振動などを用いた一つひとつの工夫が選手を支え、大会を盛り上げていて、きめ細やかな運営に感銘を受けました。

学校のみならずハンドエールを送ると会場全体で一体感が出て、応援にも熱が入りました。大会の雰囲気味わうことができたことがとても良い経験になりました。

授業で事前に作成していた応援グッズを使って、エールを送りました。実際に選手同士が手話でコミュニケーションをとっている様子を目の当たりにすることができて、貴重な体験でした。

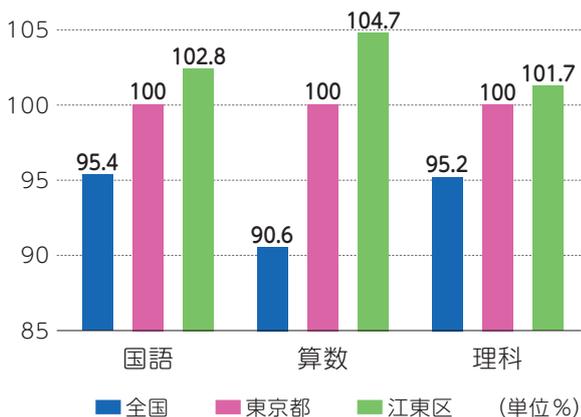


「みんな、かがやく！」教育活動を推進

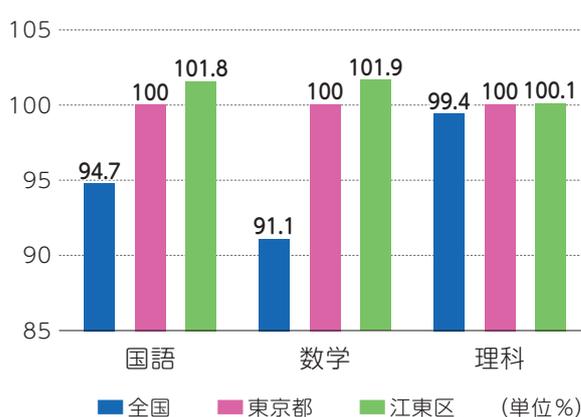
～令和7年度全国学力・学習状況調査結果から～

下記のグラフは、「全国学力・学習状況調査」の結果について、都平均を100としたときの江東区立小・中・義務教育学校の状況を棒グラフで表したものです。小・中学校ともに全ての教科において、全国平均と都平均を上回る結果となっています。

小学校・義務教育学校(前期課程)
6年生



中学校・義務教育学校(後期課程)
3年生(9年生)



特に向上した部分

学習したことを
関連付けて理解する力

日常的なICT利活用

各学校が考えた
「授業スタイル」による
こども主体の学び

江東区長期計画(後期)一人一人に向き合う学校教育の充実

指標名	目標値	令和7年度 ()内は令和6年度	
		令和7年度	令和6年度
自分にはよいところがあると思う 児童・生徒の割合	小・義前	100%	↗ 87.3%(83.3%)
	中・義後	100%	↗ 87.1%(82.8%)
人の役に立つ人間になりたいと思う 児童・生徒の割合	小・義前	100%	↗ 95.5%(94.8%)
	中・義後	100%	↗ 95.6%(93.4%)

左記の表は、本調査で行う、学習意欲や生活面などに関する質問調査結果の一部です。「自分にはよいところがあると思う」・「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童・生徒の割合は昨年度より上回っており、自己肯定感が高まっています。この設問は江東区長期計画(後期)の指標の一つとしており、今後も一人一人を大切にしたい教育活動を進めていきます。

問 指導室 ☎ (3647)9179 ☎ (3647)6505

表彰等のお知らせ

優れた功績があった学校の先生や、学校活動を支援している団体が表彰されました。

● 文部科学大臣教育者表彰

東陽小学校 校長 佐藤 友信

● 文部科学大臣優秀教職員表彰

第二亀戸小学校 主任教諭 高倉 奈美

● 東京都教育委員会職員表彰

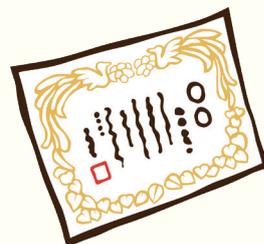
豊洲北小学校 統括校長 佐藤 勝行

豊洲西小学校 主幹教諭 正木 綾

第三亀戸中学校 教諭 堀江 真太郎

● 学校活動支援団体等に対する東京都教育委員会感謝状贈呈

平久小学校 地域学校協働本部、深川第五中学校 地域学校協働本部、大島西中学校 生徒育成会



問 庶務課庶務係 ☎ (3647)9170 ☎ (5690)6911

教育委員会だより

今後の教育委員会開会予定

教育委員会について

月1回定例会を開会しています。必要に応じて臨時会を開会することもあります。会議は、原則、どなたでも傍聴(5名まで)できます。開会の日時、場所、傍聴の手続き、また過去の会議録は区のホームページでご確認ください。

教育委員会ホームページ

<https://www.city.koto.lg.jp/kyoiku/index.html>



定例会	開会予定日時
第3回	3月26日(木)午後2時
第4回	4月24日(金)午前10時
第5回	5月29日(金)午前10時
第6回	6月26日(金)午前10時

教育委員会開会状況(令和7年)

● 定例会12回 ● 臨時会4回

《案件数》議事案件55件、報告案件83件、協議案件6件

▶ **教育委員会構成** 教育委員会の構成は、次のとおりです。

学校や幼稚園の様子をお伝えします!



教育長
本多 健一郎



教育長職務代理者
安部 敏啓



委員
鈴木 清人



委員
浅野 美智子



委員
大久保 善子

問 庶務課庶務係 ☎ (3647)9170 ☎ (5690)6911

いきいき スクールネットワーク



東陽中学校

落ち葉掃きボランティア ～感謝の気持ちを伝える活動～

本校は昨年度、開校40周年を迎え、地域や支えてくださる皆さまへの感謝の気持ちを再認識しました。その思いを大切にしながら、生徒会本部が中心となり、温かい気持ちを行動に表しました。



12月、教育相談期間の6日間を活用して、落ち葉掃きボランティアを行いました。生徒会本部は朝礼、朝の挨拶運動の時間帯に全校生徒に案内をしました。活動では、生徒会と応募した生徒62名が主体的に取り組み、地域、支えてくださる皆さまへの感謝の気持ちを表すことができました。そして、地域、学校を支えてくださる皆さまから、落ち葉掃きに対する温かいお言葉をいただきました。

本校は多くの皆さまから温かく見守られている学校です。これからも生徒一人一人がかがやく、そして笑顔あふれる学校を目指してまいります。

平久小学校

心の教育推進校

本校は今年度、区の「心の教育推進校」として、こども主体の学校づくりに取り組んでいます。こども主体の活動が、こどものやる気や自己肯定感を高め、その結果、いじめや不登校が減ることを期待しています。「心の教育」は、こども主体の活動から生まれると考えて取り組んでいます。

「D&Dフェス(運動会)」では、各学年の表現運動の一部をこどもたちが創作しました。話し合いを重ね、心一つにして表現しました。こどもの感想に、「感謝の気持ちを、自分たちで考えたダンスで表すことが、楽しかった」とありました。

音楽会では、こどもの「やってみたい」を大切にしました。こどもが演奏したい楽器を、交代して練習したことが、こどもの演奏する意欲を高めました。また学校全体で「あきらめない心」と各学年で決めた「〇〇の心」を意識した活動にすることができました。

今後も、本校はこども主体の教育活動を進めていきます。

